

# 令和元年度 大分県自立支援協議会 第1回 相談支援・研修部会、地域移行専門部会

日時：令和元年8月26日（月）14：00～15：35

## ■議論の要旨

### 議題1 大分県自立支援協議会「相談支援・研修部会」、 「地域移行専門部会」等の昨年度及び今年度の取組について

#### 【事務局からの説明】

- ①大分県自立支援協議会「相談支援・研修部会」の平成30年度の開催状況等及び今年度の開催計画
- ②大分県自立支援協議会「地域移行専門部会」の平成30年度の開催状況等及び今年度の開催計画
- ③精神障がい者地域移行ワーキングの平成30年度の開催状況等及び今年度の開催計画
- ④県内アドバイザー派遣事業の概要並びに平成30年度の実施状況及び今年度の実施予定

### 議題2 第5期大分県障がい福祉計画の平成30年度実績報告について

#### 【事務局からの説明】

- ①「福祉施設からの地域生活移行」の数値目標及び実績
- ②「施設入所者削減数」の数値目標及び実績
- ③「精神科病院からの地域生活移行」の数値目標及び実績
- ④「障がい福祉圏域ごとの保健・医療・福祉関係者による協議の場の設置」の数値目標及び実績

#### 【委員からの質問、事務局からの回答】

Q：施設入所者の待機者が多いので、調整の新ルールを決めると聞いたが、今後どのような予定か。

A：実績に計上されている人数は延べ人数のため、1人で複数の施設に申し込んでいる場合は、申し込んだ分は全て計上されているので、現在、申し込める施設数等のルールの見直しをして、整理をしているところ。

### 議題3 居住支援協議会の取組等について

#### 【事務局からの説明】

- ①新たな住宅セーフティネット制度
- ②居住支援協議会の概要、居住支援法人制度

#### 【委員からの意見】

精神障がい者が民間アパートに入居する際、家主の意向より、他の入居者が同意すれば認める家主が多い。

この制度は、家主の立場に偏っていて、捉えられていないことが多々あると思われる。家主の立場からだけでなく、違う観点からも考えてほしい

### 議題4 地域生活支援拠点等整備について

#### 【事務局からの説明】

事業概要及び昨年度と今年度の取組について説明。

昨年度は、厚生労働省と共催で地域生活支援拠点等整備促進のためのブロック会議を開催した。その後、全圏域を訪問し圏域会議を開催し、現状や課題、今後の方針等を協議した。

今年度は、全市町村を訪問し、各市町村自立支援協議会の関係部会等でアドバイザー派遣事業を活用し、地域生活支援拠点等整備促進のための支援をしたい。

#### 【意見交換】

・8050問題について、親がなくなった時や引きこもりの問題など、これらの者の情報を共有できているのか？

・高齢者や認知症のケースが今後増えると思うが、精神障がいだけの分野では対処できないので、各分野での連携や、横断的な取組を考えているのか。

・県の取組では、精神疾患の症状の方は、障害福祉課の精神保健福祉班が対応しており、具体的には、こころとかだらの相談支援センターで個別に対応している。また、精神疾患があれば病院で、あるいは相談支援事業所にお世話になっている。

また、市町村から身近なところからやってもらうよう、県からはアプローチをかけているところ。

引きこもりの問題は、多面的で、生活保護の観点等もあり、関係者と情報を共有して把握しながらやっていかなければと感じている。

・福祉側の特徴は、「困り」を困りとして自覚しているかがポイントになると思う。強制力が強くないのが福祉側の特徴で、8050問題も親がなくなる等をきっかけにして、支援の介入ができるようになる。

包括支援センターが中心に自治委員や民生委員と連携しながら、情報提供することが基本的な流れになってくると思われるので、包括との連携が今後かなり重要になってくると思われる。

・問題が発生し混乱している時ではなく、平時の時に情報を得られないか。

しかし、現在は地域の情報が崩壊している。民生委員等から情報が得られない。

・研修の立場から、包括との連携、他機関との連携ということで、ソフト面での連携が一番だと感じている。現在、包括の方は軽度化や介護予防というような視点にたったときに、障がい者との制度的なリンクが難しい点がある。

重層的に関わることで、その世帯が救われるような事案が増えてくるといいと思う。

研修では、ケアマネとの連携ということで、相談支援専門員等には研修を実施して、ケアマネの業務や介護制度等を理解してもらっているが、ケアマネの方が障がい者の制度等を理解してもらって研修がなされていない。

・病院に運ばれた高齢者の情報を得たいときに行政から得ようとしたが、行政は個人情報の関係があって、すごく時間がかかったことがあった。

・情報の開示は、それぞれのコンプライアンスやガバナンスがあり、それぞれ。

・個人情報の壁というのがあるが、もう少し滑らかにできるといいのだが。

・相談支援専門員より、自治会長や民生委員等の地域の方々が動いて情報を得たことがあった。

・一個人の思いで上手く何とかなったということが多い気がするので、少しシステム化できないか。

・命に関わるときは速やかに情報を出してほしい。